

平成28年1月29日

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	商工労働部産業振興課	氏名	澤田 英朗
派遣先 団体名	松江市城北公民館		
<p>① 研修の日時</p> <ul style="list-style-type: none">・8月20日(木)～24日(月) 城北夏祭り(8月23日)の準備、運営補助・9月9日(水)、10日(木) 公民館事業(ひよこ学級、じゃがいも大作戦ほか)の準備、運営補助・10月22日(木)、23日、25日 城北文化際(10月23日～25日)の準備、運営補助 <p>時間はそれぞれ8:30～17:15(8月23日のみ9:30～22:30) 計10日間。</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。) 別紙のとおり</p> <p>③ 研修の感想 (研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。) 別紙のとおり</p> <p>④ その他特記事項 (※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)</p>			

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成28年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。

1. はじめに

県の職員としてこれまで公民館に関わったのは施設の使用申請程度であり、一住民の立場としてもこれまでほとんど関わる事がなかったため、公民館でどんなことがどのように行われているのかわからないというのが正直なところであった。各地で学校の統廃合や地域の高齢化、人口減少が進む中、地域活動の拠点、防災機能、子どもの育成などで公民館が期待される役割が高まっていくのではないかと思う中、現状を知ることができるよい機会と考え、本研修への参加を希望した。

2. 研修の内容

①前期 8月20日(木)～24日(月)「城北夏まつり」ほか

初日(20日)、事務局と研修者との顔合わせを兼ねたミーティングを実施。館長から松江市の公民館運営の概要、城北公民館の概要(区域、事業内容、予算など)について説明を受ける。建物は松江市の施設であるが、運営組織は民間団体であるので自主的な運営が機動的に行われているということである。

その後、公民館を出て松江市淞北台の「ふれあい交流館」で開催されている「ふれあい喫茶」(社会福祉協議会事業)を訪問。高齢者を対象に、外出を促す機会として地域月1回開催されており、ちょうど100回目の開催とのこと。

20日夕方からは夏まつり準備を開始。会場となるグラウンドの地ならし、テントの設営、掲示物の作成、ステージの設営などの準備を当日23日の午前中まで行う。地域の方も準備作業に連れられ、何度かミーティングを実施。多くは60歳台～80歳台の方であり、リタイヤ世代によってこういったイベントが支えられていることを実感。



ミーティング(8月22日)



会場準備(8月22日)

23日当日は午後から夏祭りがスタート、昼間の主に子どもの遊び場イベント、夕方から夜にかけてステージイベントという構成。子ども連れから高齢者まで多くの来場で夜遅くまで賑わった。抽選受付、会場整理、ゴミ分別、ステージ進行補助などを分担して行う。残暑が厳しい最中であり、熱中症や食中毒なども心配されたが大きな事故もなく無事に終了。終了後直ちに撤収がはじまり、翌日の午前中までにはほぼ完了という手際の良さは地域住民の連携の賜物であると感じた。

この城北夏まつりについては公民館事務局だけでなく、自治会、体協、社協、青少年健全育成など様々な地域組織によって実行委員会が立ち上げられ、それぞれが準備、運営を行っており、地域住民の方も多数会場準備に参加され、地域を挙げた活動であることがよく分かった。

同じく研修や手伝いで松江市職員、地元小学校教員、インターンシップの大学生（5名）と一緒に2日～5日間活動することとなり、初めての者同士（みんな若い）で役割分担を行い工夫して作業をすすめることができ、よい機会であったとともに楽しかった。



夏祭り当日（8月23日）



終了後の片付け（8月24日）

②9月10日（水）～11日（木）公民館行事「じゃがいも大作戦」ほか

城北小学校2年生約90名が地域の高齢者（呼称：じゃがいも名人）と一緒にじゃがいもの植え付け、生育状況の観察、収穫をすることで3ヶ月にわたって交流するというもので今年で11年目になるとのこと。

前日（10日）、じゃがいもを植えるプランターを洗浄、掲示物の準備など。降雨により当日の実施が心配であったが当日は予定通り実施。学校関係者との打ち合わせ、体育館で児童と「名人」の顔合わせ会（交流会）の後、種芋の植え付け。プランターの運搬、土入れ、会場の設営及び撤収を手伝う。

ひとつのテーマを長期間かけて子どもと高齢者が一緒になって取り組み、最後は収穫という結果が得られるものであり、学校と公民館が連携して行う工夫がされた行事である。



高齢者と児童の交流会（9月11日）



じゃがいもの植え付け（9月11日）

この2日間ではほかにも公民館でコーヒーを提供して地域住民の交流を行う「モーニングブックカフェ」、乳幼児とその母親の交流行事「ひよこ学級」が行われ、それぞれの実施状況を確認することができた。

③城北文化祭（10月22日～23日、25日）

「夏まつり」に次いで参加者の多い行事であり、数ヶ月前に実行委員会が立ち上げられて実施

の内容について決められており、その実施段階の補助を行うことになった。

初日、事務局で打ち合わせを行う。今回は公民館職員4名と研修(県+松江市)2名の計6名。全体の流れを確認し、午後から行う設営の準備に係る。22日の午後及び23日の午前中に駐車場設営、屋外テント設営、機材の配置、部屋の準備を完成。

23日の午後から展示の部がスタート。地域の方の絵画、工芸、書、写真などの展示が行われ、参加者が頻繁に公民館を訪れる。その裏で展示物の補完や25日の発表会の準備を行った。

25日はステージ発表会。地域の幼稚園、小学校やサークルなど全部で12のステージ発表があり、音響、記録写真、進行の補助(舞台転換、司会への指示等)などを担当。

終了後は一斉に片付け。8月の研修参加経験が生きて地域の方とも顔見知りになっていることもあり、手際よくこなせた。人とのつながりの大切さを感じた。



事務室での準備作業(10月22日)



展示の設営(10月22日)



ステージの設営(10月25日)



ステージ発表(10月25日)

[全体を通じての所感]

公民館も設置自治体、立地環境、館区の面積や人口、立地環境等により置かれている状況は異なると思われるので、あくまで今回研修先となった城北公民館に限った話であるが、この研修を通じて公民館の状況や利用の一端を理解することができた。行政の窓口的な役割も果しながら体協、社福協、交通安全、子ども会組織など様々な事務局機能も持ち、守備範囲は思った以上に多岐にわたる。たまたま研修日に松江市の防災訓練が行われ、訓練放送が入りその対応も必要になるなど地域の防災拠点としても機能が求められているわけでもある。また、それぞれの行事が行われている最中にもイベントの参加申込み、部屋の借用申請、備品の借用、コピー依頼等々来館者が絶えることがなく、利用度が高く住民から期待されている施設である様子がうかがえた。

自治会をはじめとして住民組織のつながりで地域の行事や活動が行われ、そこに住民が参加し、

その住民が集まることで組織が成り立つという循環によって地域活動が維持されており、それをうまく循環させる施設が公民館であると考え。いかに住民のニーズを引き出し参加してもらうかがカギとなるが、一定のマンパワーの充実が必要であろう。今後はこうした活動にこれまで関わりの薄かった住民、世代にどのように参加してもらうかが課題であろうか。

また、城北地区の商店と連携して「チャレンジ券」という地域限定の商品券を発行し、抽選会の賞品等として活用しておられる。地域にある産業を有効に活用し、あるいは「城北」という立地上、松江城に隣接した地区であるのでそうした観光資源をうまく活用した事業展開をしておられる。社会教育施設である公民館という枠はあるものの、地域活動の拠点としていろいろな工夫をした取組が行われ非常に興味深かった。

行政に携わる者として各地域の諸問題を解決すべき仕事に従事しているはずが、自分が居住している地域の活動に住民として協力しているかというところではではない。県職員としてという前に、一住民として地域にどのように関わっていくかを考えるよい機会となった。

最後に、音田館長をはじめとして公民館職員の皆さんには忙しい中研修に対応していただき、また、時同じくして城北公民館で研修を一緒に受けた皆さんにいろいろ協力いただいたことに感謝を申し上げる。